

一学期範囲(7p-100p)

第1章 序説

ページ数		誤	正	備考
8p	中程の図	例外：足関節の屈曲	例外：足関節の伸展	
	その下の図	例外：足関節の伸展	例外：足関節の屈曲	
12p	中程	(大半は塩化カルシウム)	(大半はカルシウム塩)	

第2章 体幹

ページ数		誤	正	備考
30p、31p、45p等		前上腸骨棘	上前腸骨棘	
45p、46p等		前下腸骨棘	下前腸骨棘	
46p等		後上腸骨棘	上後腸骨棘	
37p	下の図	髄核	線維輪	それぞれが入れ替わる
		線維輪	髄核	
43p	見出し	骨盤（下肢帯）	骨盤	下記注釈参照
49p	上部	上肢（肩）帯で、胸骨、2つの鎖骨、2つの肩甲骨で構成	上肢（肩）帯で、2つの鎖骨、2つの肩甲骨で構成	上肢帯に胸骨は含まれない
	下の方	体幹の最下部には骨盤（下肢）帯、もしくは骨盤がある。	体幹の最下部には骨盤がある	骨盤と下肢帯は別のもの
	その次の文	これは仙骨と2つの寛骨により構成	これは仙骨と2つの寛骨と尾骨により構成	骨盤＝仙骨、尾骨、寛骨
68p	右下の図	軸椎	後頭顆	それぞれが入れ替わる
		後頭顆	軸椎	
80p	下の方	胸棘筋はT1、T10の棘突起に起始	胸棘筋はT11からL2の棘突起に起始	筋肉の起始・停止については、資料によって微妙に違う場合もある
	その次の文	T11-L12の棘突起に停止	T2-T9の棘突起に停止	

注：教科書では、骨盤と下肢帯を同一のように扱っているが、一般的には、下肢帯とは、寛骨のみを指す。下肢帯は骨盤を構成する一部ではあるが、イコールではない。